



## WAW!2022 コンセプトノート

(参考)女性と防災を巡る現状・課題

近年、世界的に自然災害のリスクが増加しています。UNDRR の Human Cost Disaster の報告によれば、1980 年～1999 年の 20 年と比較し、2000 年～2019 年の 20 年では世界の大規模自然災害の発生件数は約 1.7 倍に増加しているというデータもあります<sup>(注1)</sup>。自然災害は被災地に住む全ての人々の生活を脅かしますが、中でも女性や子供、平常時から脆弱な状況にある人々は、より強く災害の影響を受けています。

女性は、災害発生時・避難生活時、復旧・復興時と災害の様々な局面でより困難な状況に置かれがちです。災害発生時に乳幼児や高齢者等を保護しながら逃げるため避難が遅れる傾向があること等から、災害時における男性の死者数よりも女性の死者数が多くなることが知られています<sup>(注2)</sup>。途上国においては、女性の識字率が低く避難情報が伝わらない、宗教上の理由で男性の多い避難所に女性が入れない等の事情により、多くの死亡者が出ています<sup>(注3)</sup>。

避難生活においては、更衣室や授乳室等のプライバシー確保が不十分であることや、生理用品や下着、授乳用品等の物資面のニーズが満たされない等の困難がある他、避難所での清掃や炊き出し等の無償ケア役割が女性に偏るなどの課題が指摘されています。避難所内でのセクシュアルハラスメントや性暴力の被害に遭うリスクが高まる等、女性への心身の負担がより大きくなる事例が指摘されてきています<sup>(注4)</sup>。また、復旧・復興期においても、女性の方が復職しづらい状況が続くといった、長期にわたる負の影響があることも分かってきました<sup>(注5)</sup>。

こうした状況を改善するため、災害対応や防災の政策決定するプロセスへの女性の参画推進は重要な課題となっています。2015 年の第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組 2015-2030」では、ジェンダーの視点に立った災害リスク削減を実現するため、政策立案・計画・実施のプロセスへの女性の参画を推進する必要性が再認識されました。日本でも更なる改善が必要です。全国の 1741 の市町村のうち6割以上の防災担当部署に女性は 1 人もいない状況です<sup>(注6)</sup>。防災担当は災害が発生すると昼夜を問わず緊急対応や泊まり込みが必要な業務が多いため、女性が配置されづらいと考えられます。そのため、本年6月の「女性版骨太の方針 2022」においては、性別にかかわらず育児や介護等を担う職員も安心して災害対応業務に従事できるよう、

子供や介護等の要配慮者の預け先の確保等の環境整備についても好事例の収集・周知を行うこと、災害対応に携わる女性同士のネットワークを強化すること等が掲げられています<sup>(注7)</sup>。

災害時に女性が受ける影響は、平常時のジェンダー課題が顕在化していると言えるため、意思決定プロセスへの女性の参画推進と並行して、固定的な性別役割分担意識を平常時からなくしていくための取り組みが欠かせません。災害発生時には、生活インフラが使えず、必要な食料や生活用品が手に入らなくなるため、社会に存在するジェンダー課題がより一層顕著な形で現れます<sup>(注8)</sup>。固定的な性別役割分担意識を解消し、平常時から責任を分かち合い、特定の役割が特定の性別に偏らないようにすることや、家庭や地域でのケア労働を分担し協力し合っていくことが、災害発生時の防災・復興を円滑に進めていくための基盤となります。

持続可能な開発目標(SDGs)のグローバル指標 11「住み続けられるまちづくり」においては、災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指す政策・計画の導入・実施が求められています。日本においては、地方防災会議における女性委員の割合が高いほど、各種生活用品に加え、女性・乳幼児・高齢者用ケア用品を常備備蓄としている割合が高く、災害に対する備えが充実することが分かっています<sup>(注9)</sup>。防災分野における女性の参画強化は、災害に強いコミュニティ作りに不可欠です。

国際女性会議 WAW!2022 では、誰もが取り残されない防災の実現のためにどのように女性の視点を生かしていくべきかを、東日本大震災等の経験や、各国・各地域の経験を踏まえつつ議論していきます。

---

(注1) [UNDRR, “The human cost of disasters: an overview of the last 20 years \(2000–2019\)”](#) (英語)

(注2) [Center for Disaster Philanthropy, “Women and Girls in Disasters”](#) (英語)

(注3) [同上](#) (英語)

(注4) [内閣府男女共同参画局, “第5次男女共同参画基本計画 第8分野 防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進”](#)

(注5) [東日本大震災女性支援ネットワーク, “被災地の女性からの雇用に関するメッセージ”](#)

(注6) [内閣府男女共同参画局, “ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査”\(令和3年\)”](#)

(注7) [内閣府男女共同参画局, “女性版骨太の方針 2022”](#)

(注8) [内閣府男女共同参画局, “第5次男女共同参画基本計画 第8分野 防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進”](#)

(注9) [東京大学社会科学研究所, “防災・減災と男女共同計画”](#)